

まちづくりに“使える”市民ツール『まちづくりアーカイブズ』

1. 連携・協働による地域課題解決モデル事業

わが国の各地域や民間の中にあった人々の支え合いと活気のある社会である「公共」を、現代にふさわしい形で再編集し、人や地域の絆を作り直すことが求められている。内閣府ではこれまで行政が独占してきた「公（おおやけ）」を市民、NPO、企業等を開いた「新しい公共」を定着させることを目的として、「新しい公共支援事業」を展開し、全国の都道府県でそれぞれの地域特性に合わせて進めることとした。この事業を受けて千葉県では、「連携・協働による地域課題解決モデル事業」を立ち上げ、市町村・NPO・大学等に対して広く提案を募集した。この度、多数の応募案の中から習志野市と千葉工業大学が中心となって提案した「**まちづくりアーカイブズによる地域課題・地縁力・志縁力のマッチングと中間支援機能強化プログラム**」（アーカイブズ事業）が採択された。大学・中間支援組織（NPO）・市・県・ICT系企業の連携によるまちづくりの中間支援体制の強化を目指すものである。

2. 事業の概要

1) 目的

これまで国・県・市等の行政が所有するまちづくりに関する統計資料や基礎情報、地域の大学が積み上げてきたまちづくりに関する調査資料、NPOが蓄積してきた市民目線でのまちづくりに関する情報等は、何らかの形で公開されているものの、必ずしも市民がまちづくりを具体的に進める際に必ずしも使いやすい形にはなっていない。アーカイブズ事業はICTを活用して多種多様なまちづくりに関する情報をひとつにまとめ、市民に対してわかりやすく加工・可視化し、まちづくりに活かせる資料集（アーカイブズ）として公開しようというものである。

2) 実施主体

採択された事業を実施するため、習志野市と千葉工業大学がコアとなり、他に大学から千葉大学、NPOからちば市民活動・市民事業サポートクラブ、行政から千葉県・南房総市・市原市・船橋市、企業から日本マイクロソフト社が参画して「千葉まちづくりアーカイブズ協議会（会長・千葉工業大学工学部・教授・寺木彰浩）」を立ち上げた。

3. 事業の二つの柱（図を参照のこと）

1) まちづくりアーカイブズによる地域課題・地縁力・志縁力のマッチング

アーカイブズ事業では地域課題に対して、適切な地縁力、志縁力を組み合わせる「マッチング」の支援を目指している。

まず多くの地域情報や地域課題をわかりやすい指標として加工しそれらを主に地図上に示すツールを開発し、Web上で公開する。合わせてまちづくり系のNPOや自治会・町会の課題解決力（地縁力）に関する調査を行う。これらをまちづくりの情報と合わせてみることにより地域の課題を住民が解決できるかどうかを判断していく。地域だけでは解決できない課題は、NPO・大学・行政等の協働体制（志縁力）による課題解決を検討していく。

2) まちづくりアーカイブズによる中間支援機能強化プログラム

アーカイブズ事業では協働による支援を必要とする取組をパイロット協働事業として、事業費から予算を確保し協働体制を構築して支援していく予定である。

パイロット協働事業では継続的にまちづくりを支援していく人材を地域コーディネーターとして育成する。千葉工業大学は地域の大学として、学生が実際に地域に入り込み地域コーディネーターをサポートしていく。対象地域として、都市部は習志野市、農村部は南房総市、中間部は袖ヶ浦市（予定）から1つつ取り上げ、アーカイブズを利用した事業の先行例として位置づける。今年度中に活動の基盤を整備し次年度の事業展開を目指している。

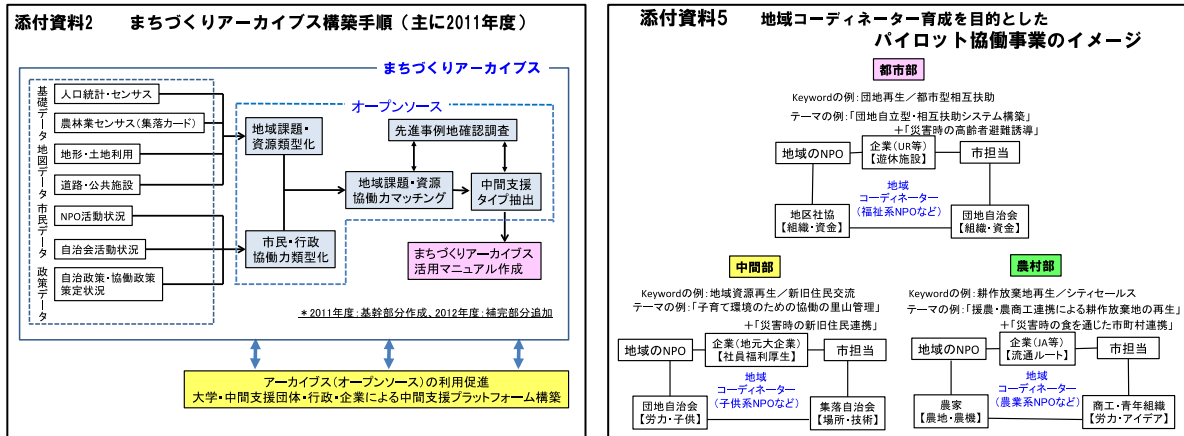
5. 現代版「結い」の実現に向けて

習志野市内の住宅団地や商店街などでは、高齢化が進み地域コミュニティが弱体化している。そうした中、市も協働によるまちづくりを推進しており、具体的な施策としてはNPO・自治会・各種団体が自主的にまちづくりに取り組めるような市民提案制度や自治活動支援制度がある。

アーカイブズ事業はこれらの施策とも連携し、継続的なまちづくりができるような仕組みづくりの強化を目指す。特に自治会同士が助け合う仕組みや、自治会とまちづくり系NPOとの連携を強化する。農村部でみられる共同体による互助システムである「結い（ゆい）」の現代都市版をつくることをコンセプトとしており、コミュニティ単位でもできるような団地内の公有地や高齢者の宅地管理・買物支援などの仕組みづくりを目指す。

都市計画や地方自治を専門とする大学の研究者、日本マイクロソフト社や地理情報システム関連の先端企業、県・市の協働推進の部署が協力して、「まちづくりに関する先端的技術」を市民が使いやすいように作り込んでいく。それをまちづくりの現場で自治会やNPO・大学の学生等が「いっしょに汗をかきな

がら都市の結い(ゆい)を進めていく。まちづくりにおける「先端技術とマンパワーや伝統の知恵の融合」を目指すユニークな取り組みとなっている。



図：アーカイブズ事業の二つの柱 (千葉県へのアーカイブズ事業申請書より抜粋)

【参加主体】

主体	団体名
大学	千葉工業大学
	千葉大学
行政	千葉県
	習志野市
	船橋市
	袖ヶ浦市
	南房総市
企業	日本マイクロソフト
NPO	ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
	まちぽっと
	まちづくり工房
	まちづくり情報センター
	トージバ

【問合せ先】

千葉まちづくりアーカイブズ協議会事務局 (千葉工業大学内)
 事務局長 青木 和也
 電話：047-478-0489
 e-mail：S1074001GG@it-chiba.ac.jp